

## 牛久保小学校の授業

牛久保小学校では、「失敗をおそれず笑顔で挑戦し続ける子の育成」をめざして授業づくりの研究を継続しています。

6月19日には、その成果が認められて、今年度の豊川市教育委員会の初任者研修の会場となり、5年1組が授業を公開しました。市内の小中学校に勤める65名の新任教員とその指導員の先生方など100名近い先生方の前で社会科の授業を行いました。

子どもたちは多くの先生方に囲まれながらも、普段通りの姿で、資料から考え日本の米作りについて学習に取り組むことができました。



また、6月28日には6年1組でも授業公開をしました。こちらは校内のみですが、5年生児童も授業を参観しました。6年生のタブレット端末を使いこなす速さには感心させられました。

どちらの授業も、一人一人が考えを持ち、その考えを友達と共有し意見交換をする中で、その教科のねらいに迫るものでした。相づちなどの反応もよく、聴く力が身につけていることがよくわかります。牛久保小学校が目指してきた「温かい人間関係」を土台にして学ぶ姿が見られています。



7月5日には、1年2組も研究授業に挑戦。はじめて多くの先生方に見に来てもらって、子どもたちはとてもうれしそうでした。

国語科『どうやってみをまもるのかな』の教材から、言葉をたよりにしながら、説明的な文章を読むことに楽しく取り組んでいました。



授業の後半では、アルマジロになってどうやって身を守るのか確かめました

## 上水道出前講座 4年

7月1日、4年生は出前講座で上水道のしくみを学びました。豊川市上下水道部経営課のお世話で、県の職員の方による講座が開かれました。水がろ過されるしくみなどを目の前の実験で教えてください、子どもたちは目を輝かせて学習に取り組んでいました。



暑い日が続きます。子どもたちの熱中症防止対策をご家庭でもよろしくお願ひします。